

# 管理職としてのあり方を確立する

ねらい

- ① 企業目標達成・事業戦略実現に向けて、管理職として一段高い視点に立ってどうあるべきかを考え、今後具備すべき要件を明確にする。
- ② 修得してきたマネジメント知識をもとに、実務現場で実践していく『知恵化』をはかる。
- ③ 参加者間の意見交換を通じて、相互練磨・相互啓発・相互信頼の輪を広げる。

## プログラム《2日コース》

第 一 日 目		○オリエンテーション	
		○会長の時間	
	10:40	<b>●Prologue 「管理職に求められるもの」</b> ・企業経営とは…、マネジメントとは… ・なぜ今、マネジメント能力の強化が重要か？ ・今こそパラダイム・シフトが必要である ・激動時代の敵と味方は…？ ・激動変革時代のマネジメントのあり方 ・これからの管理職に求められる基本的要件	LE & QA
	11:45		
	12:35	<b>◎Self-Innovation: I 「これからの管理職のあり方を考える」</b> ・事前課題をもとに、全体的高い視点で考える	GD & AC
	13:50	<b>●Chapter:1《起》「管理職としての強化ポイント その1～心編～」</b> ・経営とは、『枠組みの決定』である ・ハードな枠組みとソフトな枠組み ・経営理念と企業文化 ・なぜ、組織文化の共有化が重要か？ ・望ましい組織文化とは ・組織と個人の関係 ・管理職は、理念・使命・ビジョンの伝道者であり、 推進者であり、実践者たれ	LE & QA
	14:40		
	14:50	<b>◎Self-Innovation: II 「ytc-Valueの徹底浸透に向けて」</b> ・当事者意識を持って、本質思考で考える	GD & AC
	15:50	<b>●Chapter:2《承》「管理職としての強化ポイント その2～技編～」</b> ・経営とは、『闘い』である ・闘いの相手は…？ ・なぜ、パラダイム・シフトが不可欠要件なのか？ ・戦略思考 5つのポイント ・戦略とは資源の配分と行動スタイルの決定 ・戦略構築のプロセスと代表的な戦略類型(振り返りと確認) ・戦略は、人に従い人によって規制される	LE & QA
	18:10		
18:20	<b>●Chapter:3《叙》「これからの時代を勝ち抜く将の条件」</b> ・人は、どんな人に魅力を感じ、ついていくのか？ ・真のリーダーシップとは(エグゼクティブシップ・ディレクターシップ・ マネージャーシップ・キャプティンシップ)	LE & QA	
19:30	・リーダーシップの発揮ポイント		

第 二 日 目	8:30	<b>☆ Warming-up 「経営管理ちからだめし」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日の宿題をもとに、メンバー間で意見を交換する</li> <li>・解答編</li> </ul>	GD &QA	
	9:10	<b>● Chapter:4《転》「管理職としての強化ポイント その3～体編～」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営は、『生き物』である</li> <li>・健全な生命体は次代生命力を育む</li> <li>・やる気を引き出し、成果を高めるマネジメント</li> <li>・人材育成2つの側面</li> <li>・エンパワーメントの取り組み方</li> <li>・モチベーションアップ10の法則</li> </ul>	LE & QA	
	10:00	<b>◎ Self-Innovation:Ⅲ「人的パワー全開の為に我々がなすべきこと」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成・人材活性に求められる4つのスキル</li> <li>・管理職は、モチベーション・メーカーであれ</li> </ul>	GD &AC	
	11:40	<b>● Chapter:5《結》「管理職としての強化ポイント その4～総合編～」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営は、『価値の具現化』である</li> <li>・CSR(企業の社会的責任)とは</li> <li>・エグゼクティブ・カンパニーの条件</li> <li>・企業革新の4つの着眼ポイント</li> </ul>	LE & QA	
	12:10	<b>◎ Self-Innovation:Ⅳ</b> <b>「ytc-vision達成に向かって我々の使命と役割は」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者意識を持って、大局着眼で考える</li> </ul>	GD	
	14:00	<b>★ 全体発表 「ytc-vision達成に向かって我々の使命と役割は」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちはこう考え、このように取り組む</li> <li>・さらによいものを求めていこう(質疑応答、意見交換)</li> </ul>	AC	
	14:50	<b>● Epilogue 「創革型管理職をめざそう」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業革新はまず自己革新から・・・</li> <li>・自己練磨10か条</li> <li>・創造的課題解決人材に脱皮しよう</li> </ul>	LE	
	15:30	<b>○社長の時間</b>		

※スケジュール時間は目安であって、進行状況により、一部変更することがあります。

※LE=レクチャー、講義

QA=参加者に問いかけ、双方向で進めていく

GD=グループで意見交換しながらまとめていく

AC=全体発表で、責任を果たす意志を固める